



教育委員会だより

「多久から発信！SDGs②」

「私たちにできること」

東原 岸倉西溪校 9年1組 江副 月渥

西溪校には6つの委員会があります。その中で文化整美委員会について紹介します。この委員会では、毎日の花の水やりや毎月の環境整備を行っています。6月は、地域のボランティア清掃と校内清掃を行いました。清掃場所を自分たちで決め、今年はスクールバスでの移動を取り入れ、西多町町の清掃も行うことができました。地域清掃では、地域の方々やボランティアの方々も一緒に活動して頂いたおかげでたくさんのごみが集まりました。また、私たち児童生徒においては上級生が下級生に声をかける姿が見られ、異学年で協力して活動する場にもなりました。最後には、私が思っていた量の3倍ほどのごみが集まり、それだけのごみが町に落ちていたことにショックを受けるとともに、達成感もありました。

清掃活動は、SDGs 17の項目の11、15、17に当てはまります。年々ごみの問題で地球温暖化が進んでいるので、これを読んだ方々も落ちているごみがあれば拾って頂けると嬉しいのです。11月13日には、西溪校で第2回の清掃活動を予定しています。地域のみなさんと多久の環境を守っていききたいです。



連載

野の仏ギャラリー⑤

四国八十八尊

南多久町大字下多久

阿波・土佐・伊豫・讃岐国に所在する四国八十八箇所は、弘法大師ゆかりの巡礼地です。これらの霊場(本尊)を勧請した写しが各地に設置されました。当所では(移設され)山頂広場に集められています。現存する87尊像の内訳



※写真は八十八尊のうち約半数です

多久市郷土資料館長 藤井伸幸

は薬師如来21体、阿弥陀如来10体、大日如来6体、釈迦如来5体、大通智勝如来1体、千手観音12体、十二面観音10体、聖(正)観音6体、馬頭観音1体、地藏菩薩6体、虚空蔵菩薩3体、文殊菩薩1体、弥勒菩薩1体、不動明王3体、毘沙門天1体です。

紀年銘は二十九番明治十八年八月、七十五番明治十八年旧七月の2例です。施主の住所は当村(邑)、下多久邑、長尾村(邑)、別府邑、大工田村、納所邑、多久原村(邑)、多久村(邑)、小侍村(邑)、板屋村、山口村、惣領分村、下分村、福母村、堤村で、今日の多久市、江北町、白石町です。

市民文芸

短歌 《麦の芽短歌会 互選》

- ◆ 目に見えぬ風は筋道 つけながら
早苗田ゆらす風は透明
川浪 信子
- ◆ 外つ国で野球に臨む 青年の
日本精神 世界を魅了す
浦野 嘉恵
- ◆ 富士山へ行けた喜び 五合目の
土を踏みしめ 雨風の中
梶原恵美子
- ◆ 人生に成績なんてないんだよ
生きていることそれが聖跡
野崎 隆幸
- ◆ 字余りの短歌しか生まれぬ 国情も
世界情勢も あやうさ極まる
尾形 節子

俳句 《大石ひろ女選》

- ◆ 祭笛習ふ子供の真顔かな
本村 則子
- ◆ あの人もこの人も逝き 盆来る
中嶋 清子
- ◆ 幼子のぐうの中から 蝉の殻
富樫 明美
- ◆ 夏草の丈の隠しぬ 道標
武富 律子
- ◆ 祈る手の皺深くなる 原爆忌
おおやはな

川柳 《多久川柳会 互選》

- ◆ 便利ですす記憶にないという言葉
松下 修
- ◆ うれしいがどこに飾ろう
胡蝶蘭 和
- ◆ 進歩する 便利な利器に 追いつけぬ
高塚チカ子
- ◆ 趣味の会笑いの渦で 若返る
田中 正春
- ◆ やり直し 出来るお日さま 明日も出る
西山 残月